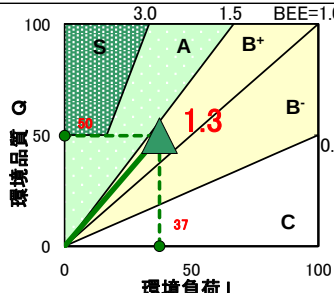
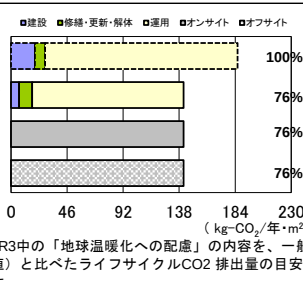
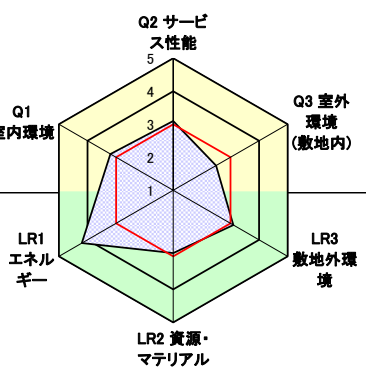


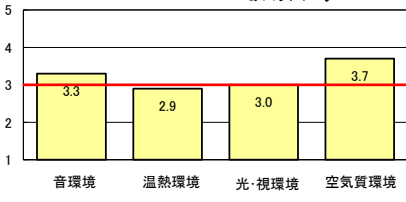
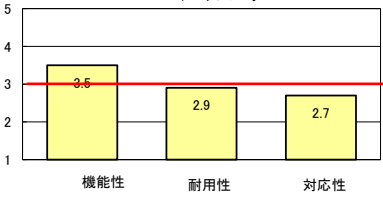
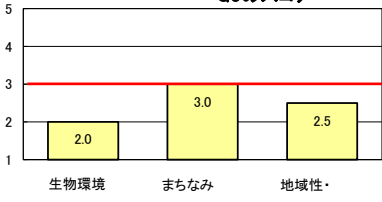
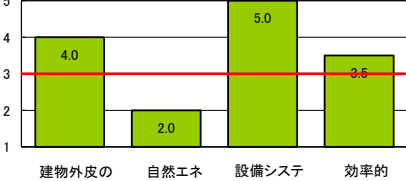
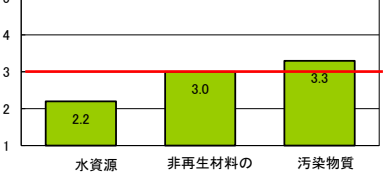
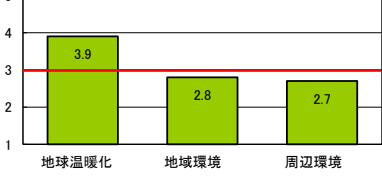


■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I 使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称) 柏市東一丁目計画新築工事	階数		
建設地	千葉県柏市東一丁目868番22ほか	構造		
用途地域	商業地域、第一種住居地域・準防火地域、防火地域指定なし	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日		
敷地面積	647 m ²	作成者	大友 健	
建築面積	238 m ²	確認日		
延床面積	3,090 m ²	確認者		
			中村 紳士郎	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.3 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2  Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5 	LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2  LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9  LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1 	

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 ブラインドと庇を合わせることでグレアを抑制します。 居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保している。	Q2 サービス性能 各住戸に電話、放送に対応した通信回線が引き込まれている。さらに、各住戸にはGbitクラスのブロードバンドを備えたインターネットサービスも提供されている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 BEI=0.82	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率76%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

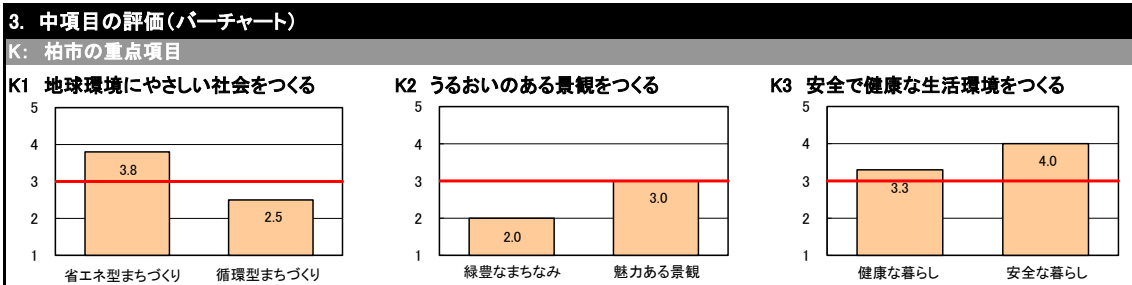


評価結果

■使用評価マニュアルASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1 建物概要			
建物名称	(仮称) 柏市東一丁目計画新築工事	建築物の環境効率 (BEEランク)	B+
			★★★★☆

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.1 / 5.0	ふつう	
K2 うるおいのある景観をつくる	2.5 / 5.0	がんばろう	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.6 / 5.0	ふつう	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上 	ふつう 3点以上 	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項			
K1 地球環境にやさしい社会をつくる		スコアシート	
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 BEI=0.82 量水器、ガスメーター、電力量計は各住戸に設置されます。		1. 省エネ型まちづくり	
特になし。		1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1)	スコア 4.0
		1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2)	スコア 2.0
		1.3 設備システムの高効率化(LR1-3)	スコア 5.0
		1.4 効率的な運用(LR1-4)	スコア 3.5
		2. 循環型まちづくり	
特になし。		2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1)	スコア 3.0
		2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1)	スコア 3.0
		2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2)	スコア 3.0
		2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4)	スコア 1.0
K2 うるおいのある景観をつくる		スコアシート	
特になし。		1. 緑豊かなまちなみ	
特になし。		1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1)	スコア 2.0
		2. 魅力ある景観	
		2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2)	スコア 3.0
		2.2 水空間の創出	設置の有無 -
		2.3 道路沿いの緑化	緑視率の確保 -
K3 安全で健康な生活環境をつくる		スコアシート	
JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		1. 健康な暮らし	
特になし。		1.1 空気質環境(Q1-4)	スコア 3.6
		1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3)	スコア 3.0
		2. 安全な暮らし	
		2.1 耐震・免震(Q2-2.1)	スコア 3.0
		2.2 防犯対策	防犯性の配慮 ○